

石川地域づくりコーディネーター 活動レポート

石川地域づくりコーディネーター
氏名 濱 博一

1. 基本情報

所 属	(株) アスリック	
連絡先	電 話	
	メール	hama@neting.or.jp
	その他 (HP等)	http://www.neting.or.jp/usric/

2. コーディネート可能な分野・過去のコーディネート実績

【Vision 構築・ブランディング系】地域ブランディングの開発・創造、地域ビジョンの検討・構築
 【観光振興】新しい観光ビジョンの策定、ラグジュアリトラベルへのナビゲート
 【地場産品】地場産品の価値発掘、新たな商品開発、農産品等の開発、それらのブランディング
 【過疎地域振興】移住・定住促進方策の検討
 【住民参加・参画】住民参加のワークショップ企画・運営支援、
 【各種講演・研修】以上の諸活動に必要な最新情報や時代潮流に関する情報提供、ならびに活動マネジメント・起業活動全般・企画立案などの講演・人財研修

3. 石川地域づくりコーディネーターとしての今年度の目標

<協会への貢献に関して>
 【全国発信】全国各地に招聘される講演・研修セミナー・会合などの場を通じて、協会専任コーディネーターとして石川県地域の情報提供を行い、本地域の先進性ならびに地域ブランディングを発信する。
 【地元活動】本地域において引き続き地域づくり活動の現場での支援を継続する。

<地域づくり活動全般に関して>
 本県での実績・事例を元に全国各地の地域づくり活動の支援を行うとともに、各地の情報・ノウハウを取得し、それらの交流・移転を促進する。
 各地の現場から得られるノウハウを昇華し、より高度な方向性・ビジョンを発掘しシェアする。

4. 今年度の活動報告と自己評価

<協会への貢献に関して>
 運営委員会・協会事業（エリア会議・円陣）への出席・参画
 ⇒運営委員・コーディネーター各位からの積極的な参画を応援すべく、後方支援に徹した

全国地域づくり研修交流会：福島大会・三島分科会に参加
 ⇒全国の地域づくり活動の元祖ともいえる三島町の現場に直接触れ、改めて底力と人的層の厚みを感じ彼の地の人的資源の活かし方を、本県各地にも導入できないかと考えている

<地域づくり活動全般に関して>
 06.05～07：和歌山県すさみ町短期診断（ふるさと財団「地域再生マネージャー事業」外部人材派遣）
 09.28～03.31：和歌山県有田市箕島漁港産直市場事業開発アドバイス業務に従事
 10.03：地域再生セミナー@富山（ふるさと財団主催。本県事例を紹介）
 02.13：ふるさと財団・地域再生マネージャー研修連絡会に参加
 ⇒今年度は、ふるさと財団関係の活動が多く、今までとは異なる人脈・ノウハウに触れることができた
 今後、本県地域における活動にも活かしていきたい

※1～3は年度当初に、4は年度末に記載してもらう（1は変更あれば年度末に修正可）。

(様式3)

平成31年 3月 31日

石川地域づくり協会会長 宛

石川地域づくりコーディネーター
氏名 濱 博一 印

平成30年度 石川地域づくりコーディネーター活動レポート

年月日	事業名	実施主体	活 動 内 容
< 県内活動 >			(テーマ、形式、概要)
2018.06.11 ～12.15	北部交流ゾーン 整備構想調査	かほく市	地区整備構想策定のための地区住民・関連団体へのヒヤリング・WSの実施・分析
2018.07.17 ～09.28	言葉の職人 養成講座	自治研修センタ	県職員対象。政策立案+立案・実行時コミュニケーション能力養成講座を連続3回のべ5日
2018.11.16 ～2019.03.	山代温泉 街づくり	石川県土木部	街づくり計画立案WSファシリテータ・ 協議会アドバイザーとして出席
2018.11.25	エリア会議:能登	地域づくり協会	全体ファシリテータ
2018.12.02	地域づくり円陣	地域づくり協会	全体コーディネータ
< 県外活動 >			(テーマ、形式、概要)
2018.10.01 ～03.31	箕島漁港産直市場 事業開発アドバイス	和歌山県有田市	事業開発アドバイザーとして事業開発に 参画
2018.10.03	地域再生セミナー	富山県 ・ふるさと財団	講演者として招聘 石川県内の事例を発表
2018.11.16-18	地域づくり全国研修 福島大会	福島県	全国地域づくり団体等との研修交流
2019.02.13	地域振興事業 研修連絡会	ふるさと財団	地域再生マネージャーとして出席
特記事項	(国、地方公共団体の審議会等就任状況、県外の地域づくり活動の実績等) ふじのくにしずおか観光振興アドバイザー (静岡県文化・観光部観光振興課)		